

人とのつながりを大切に、よりよい生き方を求める実践力の育成

～ 言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組 ～

湖 南 市 立 石 部 小 学 校

<http://www.edu-konan.jp/ishibe-el/>

本校では、道徳教育総合支援事業の推進校として、①道徳的価値の自覚を深め、子どもの心を揺さぶる「道徳の時間」の工夫 ②言語感覚を磨き、自尊感情を高め、道徳的価値を自分なりに発展させる具体的な実践活動や体験活動の創出 ③家庭や地域との連携を基盤にした道徳教育の推進体制の確立 について研究を進めている。平成23年10月14日には、研究発表会を開催し、県下および市内に本校の研究を知ってもらうことができた。

1. 「道徳の時間」の工夫

公開授業と授業分析会

本校は、研究授業のある日には、午前中、全クラスの「道徳の時間」を公開している。今年度は、全担任が年間6回の授業を公開した。授業では、授業分析会で共通確認されたことが高められ、どの教師も確実に授業力をつけることができ自信となった。授業分析会では、参観の視点について話し合い、司会者が討議の柱を立てて進めている。分析会の最後には討議の内容をまとめ、共通理解事項として次の授業への実践につなげ、レベルアップを図っている。

学年部会 資料分析や授業の流れについて話し合う



公開授業 授業分析会（年間6回）の日

3、4校時は全クラス公開授業になる



研究授業 参観の視点に基づいて参観する

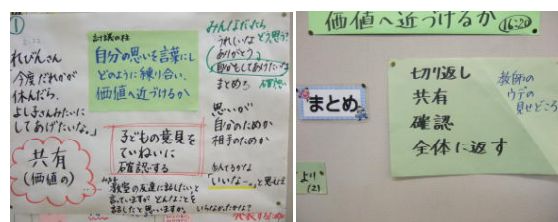
6年研究授業の様子



授業分析会 ① 参観の視点について話し合う



- ② 討議の柱に沿ってさらに授業分析を進める
- ③ 研究主任が分析会の話し合いをまとめる。



授業者より 最後に分析会を終えての感想を述べる。

今日の振り返り 分析会終了後、各自が振り返りカードを記入し、翌日からの実践につなげている。

2, 言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組

国語力集会

毎月、国語力を高めるために集会を開いている。校長先生の話「石部小学校 聞く聴く名人への道」を活用して、“考えて聞く取組”をしている。また、学年で暗唱した詩を発表して言語感覚を鍛えている。



丁寧語を使う

始業式前の4月6日、京都女子大学附属小学校長 吉永幸司先生を講師に招き、学級開きを前に研修した。言葉を正しく使うことを全校一斉に指導を開始した。

発声練習・声を出す取組

発表の声が小さく、自信が持てないという実態から、2学期より全クラスで、毎日、毎朝5分間、声を出すトレーニングを始めた。口の体操、舌の体操、唇の体操をしている。

先輩が後輩を鍛える

上学年が下学年を教え、鍛える取組。異学年交流により、自信や尊敬の心が育ってきた。

大縄を教わる5年生



校歌を教える2年生



体力テストのやり方を教える



3, 保護者や地域との連携

「ふるさと人」の語り

地域の「ふるさと人」として地域在住の方々に授業参加していただいている。

ふるさと人の語り 香山サエ子さん ふるさと人の語り 竹内利夫さん



学校応援団

学校応援団では、「ふるさと石部学遠足」への協力や、学校で地元のサークル活動をしていただくなど、あらゆる場面で「地域の人と顔なじみになる」ための取組をしている。

ふるさと石部学遠足



琴クラブの見学



4, 来年度に向けて

本年度は、研究発表会もあり、道徳の授業力アップや指導体制について、成果が大きかった。来年度は、家庭や地域との連携を基盤にした道徳教育の推進を重点として、さらに研究を進めたい。

